



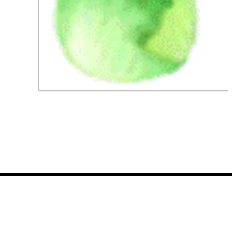
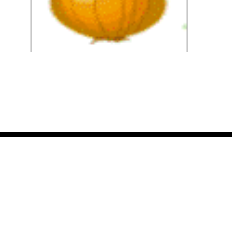

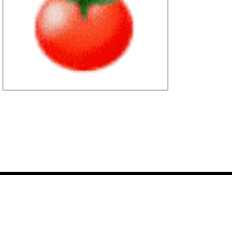

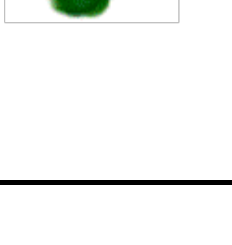
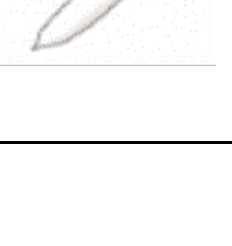
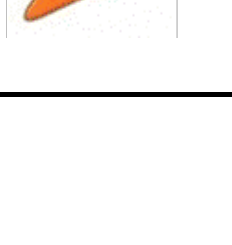


野菜の需給・価格動向レポート(平成27年4月20日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	3月の価格情報			4月の価格情報		生育及び価格の4月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロッ ク旬別平均販売 価額				
		中旬	下旬				上旬		
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	72	77	84.37	105	・入荷見込量：19,210t (100) ・主産地：神奈川 (50)、愛知 (36)、千葉 (11)	・神奈川県は、最近の降雨により収穫に遅れが生じたものの、生育は順調であることから、平年よりやや多めの出荷となっており、今後は平年並みの出荷の見込み。愛知県は、最近の降雨により収穫に遅れがあり平年よりやや少なめの出荷となり、一部で軽微な病害が見られるが、全体的には生育は順調なことから、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉県は、最近の低温により一部で生育に遅れが見られ、平年よりやや少なめの出荷となっているが、全体的には生育は順調なことから、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・神奈川県、愛知県及び千葉産の出荷が、平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
		83.73	66	63	86.69	87	・入荷見込量：4,800t (163) ・主産地：愛知 (70)、大阪 (16)		
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	229.99	234	224	264.10	231	・入荷見込数量：4,050t (100) ・主産地：千葉 (44)、埼玉 (27)、茨城 (14)、輸入 (4)	・千葉県は、生育は順調であるものの、最近の降雨により収穫に遅れが生じ、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。埼玉県は、最近の降雨により収穫に遅れが生じ、平年より少なめの出荷となっているが、生育が順調であることに加え、出荷できなかった分が重なるため、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。茨城県は、生育は順調なことから引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・千葉県、埼玉県及び茨城産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
		450.51	348	339	334.73	334	・入荷見込数量：200t (91) ・主産地：徳島 (28)、三重 (19)、奈良 (15)、香川 (15)、高知 (7)、大阪 (6)		
	はくさい 	61.12	73	74	67.05	91	・入荷見込量：6,260t (100) ・主産地：茨城 (80)	・茨城県は、最近の降雨、低温、日照不足等の天候不順の影響は一部の収穫作業を除いて、現時点では特段見られず、生育はおおむね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
		68.70	104	77	77.96	85	・入荷見込量2,900t (99) ・主産地：長崎 (26)、熊本 (25)、茨城 (24)、宮崎 (16)		
	ほうれんそう 	307.66	513	483	376.10	534	・入荷見込量：1,220t (102) ・主産地：茨城 (35)、群馬 (28)、埼玉 (15)、千葉 (12)	・茨城県は、最近の低温と曇天の影響で、生育に多少の遅れが生じ、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は天候が回復すれば平年並みの出荷の見込み。群馬産は、作付面積の減少に加え、最近の天候不順により生育に遅れが生じていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。埼玉県は、最近の低温と曇天の影響で生育に遅れが生じていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、群馬産及び埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		341.25	501	480	396.89	502	・入荷見込量：430t (97) ・主産地：岐阜 (29)、徳島 (28)、福岡 (24)		
	レタス (結球) 	199.64	200	178	156.23	183	・入荷見込量：7,670t (100) ・主産地：茨城 (65)、兵庫 (16)、香川 (3)	・茨城県は、最近の低温と曇天の影響は現時点では見られず、今後注意が必要であるが、生育はおおむね順調であり、引き続き平年並みの出荷の見込み。兵庫県は、最近の降雨により収穫に遅れが生じたことから平年よりやや少なめの出荷となっているが、生育は現時点では順調であり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産及び兵庫産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
		203.61	225	199	165.00	199	・入荷見込量：1,400t (93) ・主産地：兵庫 (55)、徳島 (13)、香川 (13)		
たまねぎ 	76.15	103	99	91.24	95	・入荷見込量：14,090t (105) ・主産地：佐賀 (50)、北海道 (37)、輸入 (4)	・佐賀産は、極早生品種の出荷は終盤を迎え、次期の早生品種は生育は順調で計画通りの出荷となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、倉庫に保管されて、計画的な出荷が行われており、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・佐賀産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。		
	76.15	98	94	91.24	99	・入荷見込量：4,400t (92) ・主産地：佐賀 (44)、長崎 (23)、北海道 (16)、兵庫 (12)			
果 菜	きゅうり 	253.93	395	306	253.93	290	・入荷見込量：7,020t (100) ・主産地：群馬 (22)、埼玉 (22)、千葉 (15)、茨城 (11)	・群馬産及び埼玉産は、最近の日照不足などの影響から平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は天候次第ではあるが平年並みの出荷の見込み。千葉県は、最近の低温と日照不足により、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年より少なめの出荷と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づきものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		242.77	395	300	242.77	270	・入荷見込量：1,540t (107) ・主産地：宮崎 (46)、徳島 (18)、高知 (17)、愛媛 (7)		
	トマト (大玉) 	339.78	468	424	339.78	406	・入荷見込量：7,620t (100) ・主産地：熊本 (28)、栃木 (24)、愛知 (10)、千葉 (6)、茨城 (6)、埼玉 (6)、福岡 (4)、群馬 (3)	・熊本産は、最近の低温と曇天の影響で着色に遅れが生じていることなどにより、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、最近の低温と曇天による日照不足の影響から着色不良や小玉傾向により、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・熊本産及び栃木産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		321.78	429	395	321.78	379	・入荷見込量：1,580t (113) ・主産地：熊本 (71)、福岡 (13)		
	なす 	347.77	416	397	347.77	376	・入荷見込量：3,470t (100) ・主産地：高知 (54)、福岡 (20)、佐賀 (5)、群馬 (4)	・高知産及び福岡産は、最近の低温と降雨、日照不足などの影響により、生育不良で品質の低下や病害の発生も多く見られることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年より少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		330.95	410	382	330.95	359	・入荷見込量：850t (99) ・主産地：高知 (34)、熊本 (22)、福岡 (18)、岡山 (9)		
	ピーマン 	551.24	651	641	308.36	557	・入荷見込量：2,350t (100) ・主産地：茨城 (55)、宮崎 (22)、高知 (14)	・茨城県は、最近の曇天の影響で樹勢が弱く、花落ちが見られることから引き続き平年より少なめの出荷の見込み。宮崎産は、最近の曇天の影響から樹勢が弱くなってきているものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。高知産は、低温、多雨、曇天による日照不足により、生育不良で品質の低下や病害の発生も見られることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・宮崎産の出荷が平年並みと見込まれるもの、茨城産及び高知産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		513.91	608	601	283.10	499	・入荷見込量：600t (98) ・主産地：宮崎 (55)、高知 (21)、鹿児島 (9)、茨城 (6)		
	根 菜	だいこん 	79.03	70	73	86.59	103	・入荷見込量：12,580t (100) ・主産地：千葉 (76)	・千葉県は、最近の降雨により収穫に遅れが生じ、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は県内各産地の出荷が出揃い増加傾向と見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は平年並みに近づき見込み。
			80.47	78	84	94.24	88	・入荷見込量：3,200t (102) ・主産地：長崎 (45)、鹿児島 (30)、香川 (14)	
にんじん 		101.05	103	115	156.99	113	・入荷見込量：8,650t (100) ・主産地：徳島 (84)、輸入 (1)	・徳島産は、最近の降雨の影響から出荷に遅れが生じ、平年よりやや少なめの出荷となっているが、特段の病害もなく生育は順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・徳島産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
		104.73	102	120	148.36	123	・入荷見込量：2,400t (169) ・主産地：徳島 (68)、長崎 (13)、鹿児島 (10)、宮崎 (7)		

種類	3月の価格情報				4月の価格情報		生育及び価格の4月の見通し
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロッ ク旬別平均販売 価格	上旬	
		中旬	下旬				
い も	さといも	217.95	247	245	-	-	〈入荷量が少ないため、見通しは省略〉
		219.65	294	265	-	-	
	ばれいしょ	88.17	127	140	131.80	147	・入荷見込量：9,220t (95) ・主産地：北海道 (47)、鹿児島 (46)
		88.17	120	123	131.80	122	・入荷見込量：3,800t (78) ・主産地：鹿児島 (68)、北海道 (26)

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局が公表する「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
5 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格の一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,609gで前年比99%、購入金額は、1,761円で同101%となった。
また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は、153円で過去5か年平均比75%、レタスは、493円で同99%となり、キャベツは過去5か年平均を下回った一方で、レタスはほぼ過去5か年平均並みとなった。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成26年		平成27年		前年比	前年比
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)		
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	100	1,755	99
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	99	1,761	101
3月	4,868	1,811	4,958	1,878				
4月	4,765	1,855	4,871	1,887				
5月	5,089	1,917	5,146	1,993				
6月	5,056	1,902	4,998	1,976				
7月	4,402	1,737	4,542	1,770				
8月	4,315	1,731	4,275	1,846				
9月	4,688	1,844	4,745	2,035				
10月	5,191	1,902	5,455	1,973				
11月	4,990	1,700	5,291	1,704				
12月	5,146	1,927	5,233	1,977				

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
注：過去5か年平均は、平成22～26年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)(単位：円/kg)

月	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成27年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成27年	5か年比(%)
1月	212	229	108	684	827	121
2月	222	202	91	631	576	91
3月	205	153	75	500	493	99
4月	243			453		
5月	163			365		
6月	137			317		
7月	160			332		
8月	138			400		
9月	158			591		
10月	174			469		
11月	164			429		
12月	172			546		

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 過去5か年平均は、平成22～26年の平均。
2 平成27年3月の値は、3月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

3月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比84%(中国は同93%)の2万8千トン、にんじんは、同66%(中国は同89%)、ベトナムは同49%の5千7百トン、ねぎは、同78%(中国は同79%)の4千1百トンとなった。たまねぎ、にんじん、ねぎはそれぞれ前年を大幅に下回った。

野菜の輸入数量

区分	平成25年		平成26年		平成27年1月～2月		平成27年2月	
	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	854,042	90	884,788	104	132,494	75	69,681	83
加工野菜	1,854,162	97	1,785,054	96	276,657	95	134,460	112
野菜合計	2,708,205	95	2,669,841	99	409,150	87	204,141	100
うち中国産野菜合計	1,415,762	97	1,409,144	100	223,605	95	108,297	118
中国産シェア	52		53		55		53	

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成26年3月(A)		平成27年3月(B)		(B)/(A)
		平成26年3月(A)	平成27年3月(B)	平成26年3月(A)	平成27年3月(B)	
たまねぎ	合計	32,777	27,522	84		
	中国	23,134	21,573	93		
	米国	2,177	2,850	131		
にんじん	合計	8,623	5,707	66		
	中国	4,771	4,236	89		
	ベトナム	1,676	825	49		
ねぎ	合計	5,258	4,101	78		
	中国	5,197	4,088	79		

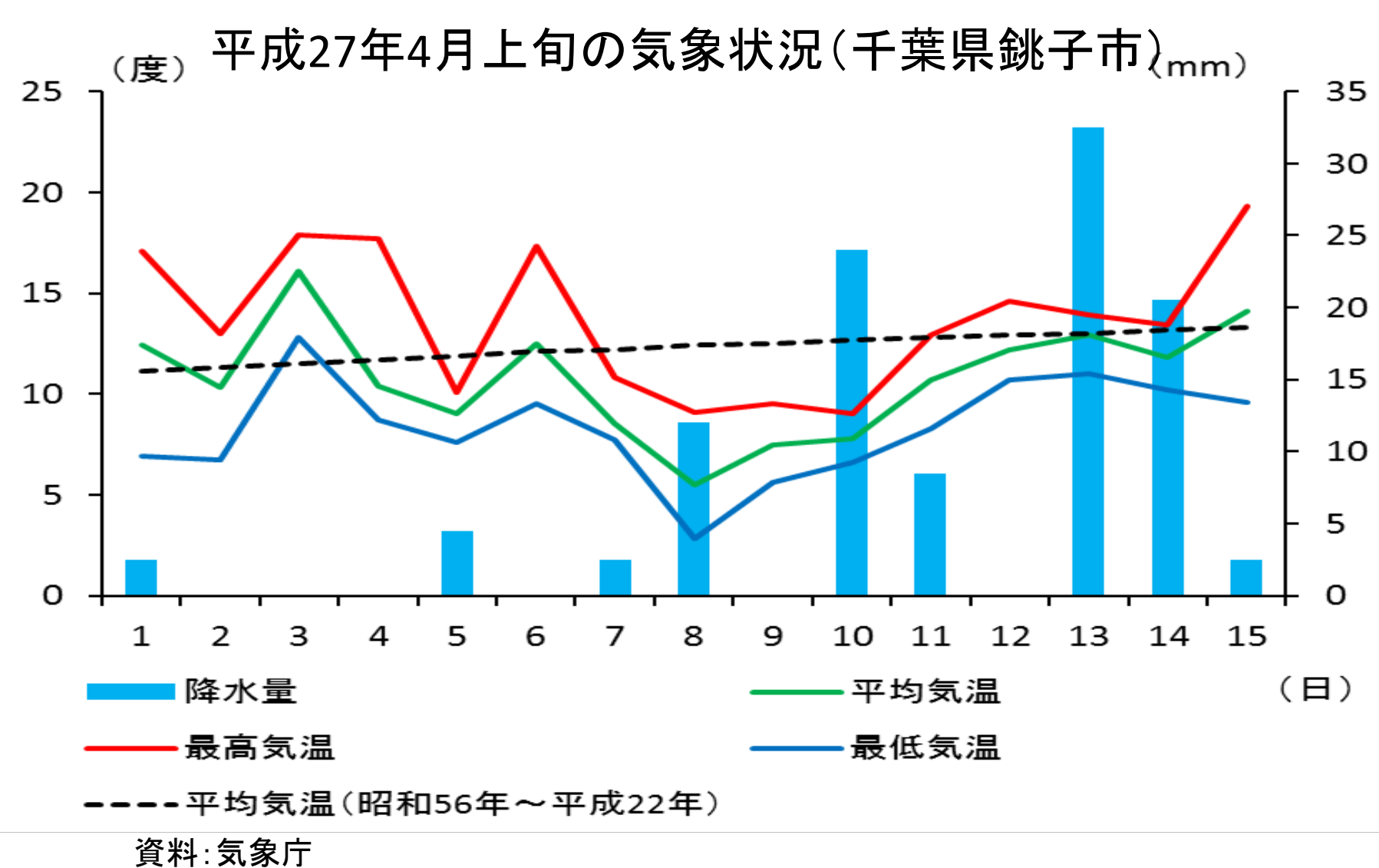
資料：農林水産省「植物防疫統計」
注：平成27年3月は速報値。

4 トピック — 春先の天候不順による影響について —

春先は、天気が周期的に変わり、品目により産地レレーの移行期でもあることから、野菜の需給動向に変調をきたすことがある。本年は、3月には西南暖地の曇天や低温もあり、特に果菜類の卸売価格が大きく上昇したが、さらに、4月に入ると東日本と西日本の上空を強い寒気を伴う低気圧が通過する状況が続いたため、4月上旬には、関東や西日本を中心に平年に比べて低温、多降雪、日照不足の傾向が顕著となった。例えば、東京でも4月としては5年振りの降雪を観測して、真冬並みの寒さの日が現れ、千葉県銚子では統計開始以来90年振りの降雪を記録し、さらに高知県や宮崎県など西南暖地を中心に多くの地点で日照時間が平年の4割以下を記録するなど、例年がない天候不順となった。

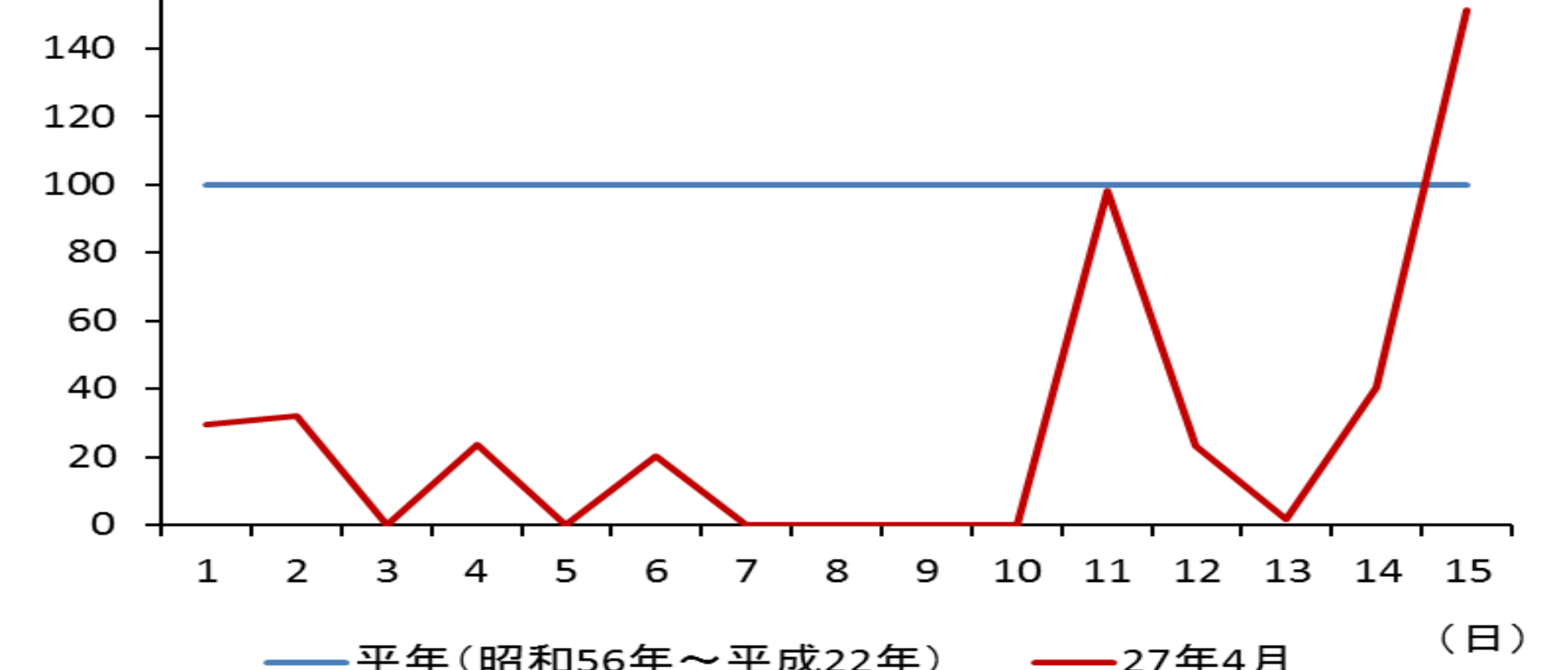
このため、野菜産地では、品目により生育・肥大・収穫の遅れや、今後の病害発生への懸念も一部で指摘されている。例えば、東京中央卸売市場のキャベツの卸売価格をみると、3月下旬から4月上旬にかけて大幅な上昇となり、果菜類については、例年ない日照不足のため、なすの卸売価格は10日以降、大幅な上昇となった。

気象庁発表(4月16日)の向こう1か月の天候予報では、北日本と西日本では、平均気温は平年並みか高く、東日本は平年並みの見込みであるが、北日本から西日本の太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、降水量は平年並か多いとの見通しである。野菜産地では、これから気温が上昇し、日照時間が伸びるなど野菜の生育盛期を迎えることから、最近の天候不順の影響が緩和され出荷の回復も期待されるが、暫くの間は、天候の推移と合わせて需給・価格動向を注視することが重要である。



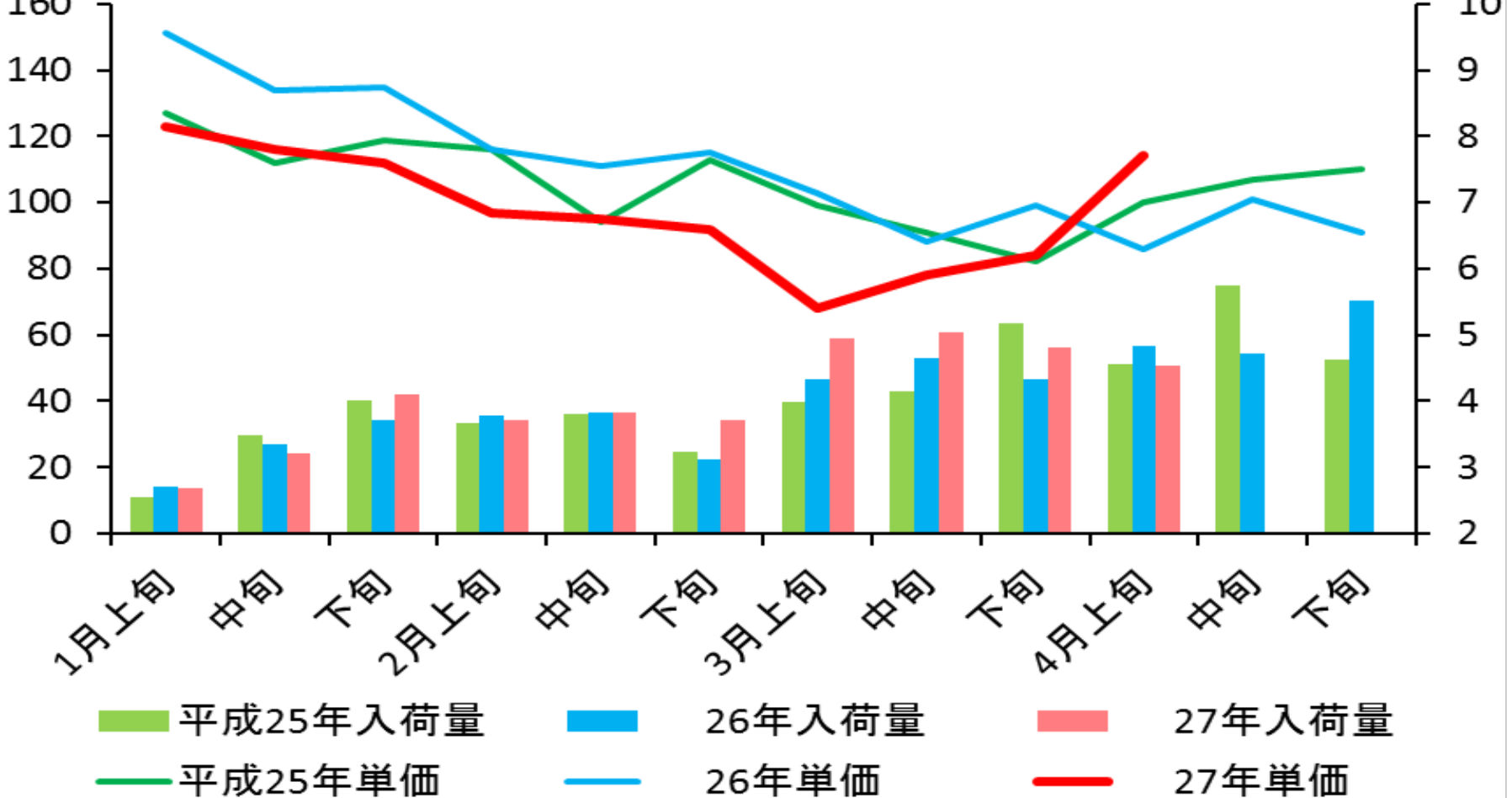
資料：気象庁

平成27年4月上旬の日照時間の平年比の推移(高知県安芸市)



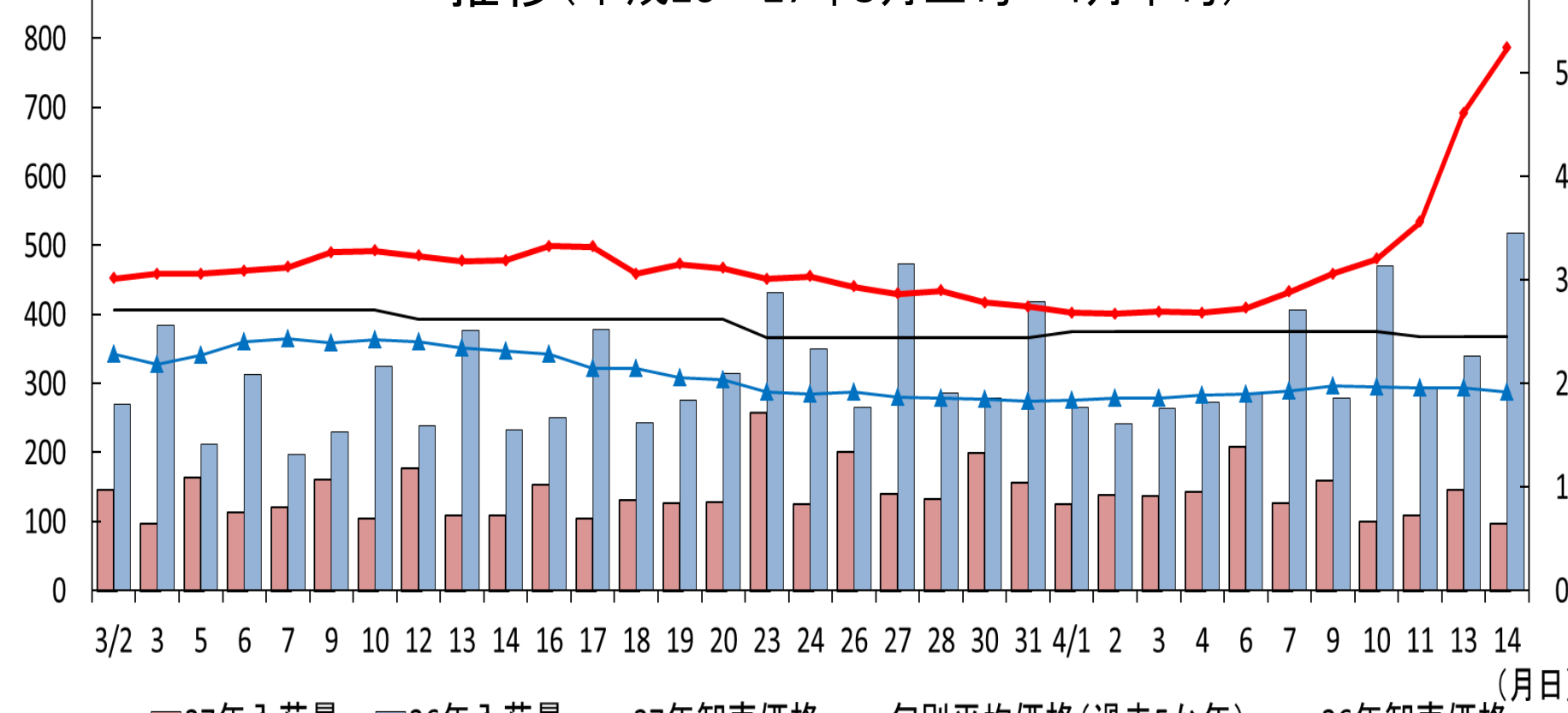
資料：気象庁

東京都中央卸売市場におけるキャベツの入荷量と単価の推移(平成25～27年)



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料)農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」

東京都中央卸売市場におけるなすの入荷量と単価の推移(平成26～27年3月上旬～4月中旬)



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料)農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。